



春休み号 さくら組

R7.3.18 発行

臼井幼稚園

3 学期は駆け足で過ぎ、あと 20 日もすれば 4 月です。臼井幼稚園では毎年クラス替えがあります。3 年間クラスが変わらない、という幼稚園もあると聞きますが、毎年クラス替えをすることで友達の数が増えるだけではなく、色んな友達がいることを知って欲しいのです。2 歳を過ぎるころから、子どもは脱中心化といって自分以外の人を認識するようになっていきます。特に近い年齢の子が持っているものや言葉から得ていく情報は、大人が得る情報の何十倍のスピードだそうです。

幼児期の吸収力成長力は小学校へ行く時期に比べても段違いです。そういう時期に、『何を経験するか』がとても大切だと考えています。色んな先生や友達と出会い、身体を動かし、五感をフルに使って感じて欲しいのです。リレーを例にあげてみます。友達にバトンを落とさずに渡す、一生懸命走って、走ったから勝てた、一生懸命走ったけれど勝てなかった、気持ち。その時の風、足に感じる芝生の感触、友達と協力することも、年齢が上がるによりよく意識するようになります。言葉にならない感覚的なことも、子ども達の記憶に刻み付けられ、いつか力を発揮することになるでしょう。

臼井幼稚園には特にサポートを要するお子さんもいます。子ども達は、意識してかどうか分かりませんが、同じクラスに友達として存在する彼らに、自然に優しく手を差し伸べてくれます。私たちは「手伝ってあげて」とか「〇〇ちゃんは特別だから」などと言うことはありません。子ども達からもそういう言葉は聞きません。自分たちのクラスに、一緒にいることが当たり前であるということを受け入れているんだな、と大人から見ても尊敬せずにはいられません。こういうことも、子ども達の経験の積み重ねになっていくのだと思います。

私達教員は、子ども達の小さなとまどいや不安をくみ取り、サポートしていきたいと思っています。一番そばにいてくださるご両親の皆さまには、より敏感に感じ取れるなにかを、私たちに積極的にお話しくださると助かります。どうということはないと思われることでも、子どもにとっては一大事であることもあります。気になることは遠慮なくお伝えください。

新学期にまた元気な顔を見られる日を待っています。

お知らせです。念願の言語聴覚士の先生が 4 月から週に 1 度程度、幼稚園に来てくださいます。30 分程度で 1,100 円、と今相談中です。できるだけ親御さんと一緒に受けていただきたいと思います。先生が教えてくださることをフィードバックできるのは親御さんだけです。言葉が聞き取りにくいとか、うまく噛めない(食べ物をすりつぶしている)ようだとか、相談に乗ってくださったり、継続的にトレーニングをしてくださる予定です。詳細はまた改めてお知らせします。

【創立記念日】

臼井幼稚園の認可が下りたのは、昭和 48 年 2 月 23 日で、開園は 4 月 1 日です。新年度の多忙な時期でもあり、今まで創立記念日として休暇を設けてきませんでしたが、2019 年度より、5 月の連休に合わせて、創立記念日として休園させていただきます。令和 7 年度は 5 月 7 日を休園といたします。

教員も労働者であり、決して多くはない給与で働いている者達です。長い休みになりますが、休日を有効に利用していただければと思っています。よろしくお願いいたします。

園長 志田裕美子

【春休みの宿題】

家の手伝いを何かひとつさせて下さい。うまくできなくても、やってくれたことに「ありがとう」と応えて下さい。「ありがとう」と言われた子どもは、次はもっとうまくやろう、と意欲を持ちます。

親御さんは、子どもにお手伝いをさせるお手伝いと人生の成功についてのチャンスをできるだけつくって下さい。ハーバード大学で行なわれた研究で、幼少期からお手伝いをした子どもは、より有用な大人になるそうです。

【年少へ向けて出来るようになって欲しいこと】

3 月に入り、園でもトイレへ行ける子が増えています。春休み中もお家でトイレへ行くチャンスを作ってあげて下さい。

〈2 ページへ続きます〉

＜入園式＞ 4月11日（金）

下駄箱、保育室が変わります。下駄箱は、進級クラスの場合に入れてください。

※持ち帰った生活調査表と引き渡しカードは、訂正のある箇所を赤字で直し、入園式に持たせてください。訂正のない場合は、そのまま始業式に持たせてください。

＜バスご利用の方へ＞

・ 令和7年度のバス時刻表は、ホームページに掲載します。

4/14（月）より新しい時間で運行します。

＜その他のお知らせ＞

- ・ 新しいクラスの発表は、4月3日（木）よりホームページ上でのみ行ないます。
- ・ 10日まで春休みです。
- ・ 14日（月）～18日（金）は、短縮保育（13:10 降園）です。
- ・ 21日（月）～23日（水）は、個人面談のため午前保育（11:30 降園）です。
- ・ クレパス、コンテ、はさみ、粘土、粘土ケース、カラーペンは来年度も引き続き使いますので、そのままお預かりします。
- ・ 出席カードに個人情報を記入しませんので、生活調査表を必ず提出してください。
- ・ 絵手紙ファイルは中身を抜いて持って来てください。新しい物を購入したい方は、新担任までメモでお知らせください。（450 円）

＜担任からのメッセージ＞

ついに最後のクラス便りになってしまいました。

始まったばかりの4月は、7人でのスタート。ちょっぴり寂しいかな…と思っていましたが、その分ひとりひとりとじっくり向き合う時間が持て、みんなの小さな成長をすぐそばで感じることができました。毎日お話すことや一緒に遊ぶことがとても楽しくて、気がつけばすっかり「さくら組の先生」としてみんなのペースに染まっていました。

9月には6人の新しいお友だちが加わって、さくらぐみは一気ににぎやかに！4月も9月も、初めてお父さんお母さんと離れて過ごす子は、涙涙の大嵐。顔を真っ赤にして「ママー！！」「パパがいいー！」と泣き叫ぶ日もありましたが、それでも毎日少しずつ園の生活に慣れていきました。

今では「そんなこともあったなあ…」と笑い話です。ふと気づけば、みんなすっかりお兄さん・お姉さんの表情になり、キラキラ輝いています。

いよいよ進級まであと少し。思い返せば、この1年の中には、子どもたちの笑顔や涙、そしてたくさんの「できた！」がギュッと詰まっていました。

「タオルできなーい」「帽子どこに入れるの？」「お友だちが先に取った！」

「先生できない！やって！」

最初は泣き声と叫び声の合唱。順番が待てずに押してしまったり、「貸して」が言えなくておもちゃの取り合いになったり…。思い通りにならず、地団駄を踏んで泣き叫ぶ毎日でした。

それが今では、「先生見て！ひとりで履けたよ！」「お皿ピッカピカにしたよ！」

「一緒にあそぼ！」「貸して、どうぞ！」

そんな言葉が当たり前になり、帰りの支度のタオルだって、「半分こしてねー！」の声掛けで、全員が自分で畳んでカバンにしまえるようになりました。

お友だちとのやりとりも、おもちゃを貸してあげたり、困っている子に声をかけたり、みんなが優しい姿を見せてくれるようになり、その度に「大きくなったなあ」と嬉しくなりました。

他にも、体育の時間には鉄棒で「豚の丸焼き」ができるようになったり、大好きな歌を覚えて、大きな声で歌ってくれたり、朝の会では自信たっぷりに自分の名前を発表したり…。

その一つひとつが宝物のように輝いていて、毎日みんなの「できた！」に拍手してきました。

こうして一緒に過ごしてきた毎日は、私にとってもかけがえのない宝物です。

さくら組のみんなと過ごした1年間は、笑顔いっぱい、涙もちょっぴり、でもその全部が愛おしく、大切な思い出です。

保護者の皆さまには、毎日あたたかく見守っていただき、本当にありがとうございました。

4月からは新しいクラス、新しい先生、新しいお友だち。ちょっぴりドキドキするかもしれませんが、さくら組で過ごしたこの1年が、きっとみんなの自信につながっていると思います。

これからも、みんなが自分らしく、楽しくのびのびと成長してくれたら嬉しいです。

「さくら組楽しかったな～」って、いつか思い出してもらえるような、そんな1年になっていたらいいなと思います。

高橋 まりこ